

超短期訪日プログラムを成功させるための秘訣 -プログラムの立案から評価まで-

講師：和泉元 千春 氏 (奈良教育大学准教授)

昨今では様々な教育機関で数週間から1カ月程度といった超短期の訪日プログラムが企画実施されています。短い期間の訪日プログラムでは何を目的とし、その目的をどのように具現化し、何を成果として考えればいいのでしょうか。今回の研修会では、超短期プログラムの立案から評価までを具体例を示しながらご紹介します。また、参加者のみなさまのこれまでの経験やプログラムデザインのアイデアをワークショップ形式で共有します。超短期プログラム実施における成功や失敗の事例から、超短期プログラムを成功させるための秘訣をいっしょに考えてみたいと思います。

記

と き：平成 25 年1月 12 日 (土)

10:00~16:00 (昼食休憩12:00~13:30)

※ 全体は2部構成です。1部は講演、2部はワークショップ (情報交換) となります。

ところ：北海道大学国際本部留学生センターLL教室2 (センター3F)

参加費：無 料 ※ 事前のお申し込みは必要ありません。当日会場へ直接お越しください。

お問い合わせ先：小河原義朗 (北海道大学留学生センター)

ogawara@oia.hokudai.ac.jp, TEL: 011-706-8010 (直通)

oooooooooooo 講師プロフィール oooooooooooooo

和泉元 千春 (いずみもと ちはる)

大阪外国語大学大学院外国語学研究科 (日本語学専攻、言語・文化学修士) を修了後、関西の大学で留学生の日本語教育に携わる。1999年からは (独) 国際交流基金関西国際センター、日本語教育専門員として、外交官や研究者に対する専門日本語研修や、海外で日本語を学ぶ大学生を対象とした学習奨励研修などの企画運営を担当。2011年10月より現職 (奈良教育大学、持続発展・文化遺産教育研究センター)。

<著書>

『初級からの日本語スピーチ』, 独立行政法人国際交流基金関西国際センター (共著), 凡人社